

知事記者会見

現在の感染状況等について

令和4年7月21日

県内の感染状況等について

※病床利用率は医療圏毎に以下の数値に基づき算出

上段…緊急時病床数:570床(長崎:208床、佐世保:134床)

(下段)…最大確保病床数:451床(長崎:163床、佐世保:98床)

7/21公表時点

※R4.4.14～病床利用率の算定方法変更

県全体		7/4	7/5	7/6	7/7	7/8	7/9	7/10	7/11	7/12	7/13	7/14	7/15	7/16	7/17	7/18	7/19	7/20	7/21
病床利用率	病床全体 (※)	11.6% (14.6%)	11.9% (15.1%)	15.1% (19.1%)	12.6% (16.0%)	13.9% (17.5%)	15.6% (19.7%)	18.2% (23.1%)	19.3% (24.4%)	21.1% (26.6%)	24.2% (30.6%)	25.1% (31.7%)	27.7% (35.0%)	29.5% (37.3%)	32.1% (40.6%)	31.4% (39.7%)	32.5% (41.0%)	33.9% (42.8%)	36.0% (45.5%)
	重症者 用病床	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	2.5%	2.5%
新規感染者数 (10万人/週)		192人 (174.6人)	542人 (188.3人)	537人 (197.6人)	523人 (213.9人)	555人 (229.0人)	557人 (249.8人)	592人 (266.6人)	295人 (274.5人)	849人 (297.9人)	861人 (322.6人)	897人 (351.1人)	830人 (372.0人)	912人 (399.1人)	841人 (418.1人)	568人 (438.9人)	526人 (414.3人)	1587人 (469.6人)	1615人 (524.3人)
療養者数(10万人/日) (入院+宿泊+自宅)		214.6人	226.4人	241.8人	261.5人	272.4人	300.2人	317.9人	321.5人	342.5人	364.3人	398.9人	431.7人	477.1人	508.8人	525.3人	541.2人	572.0人	621.3人

長崎市		7/4	7/5	7/6	7/7	7/8	7/9	7/10	7/11	7/12	7/13	7/14	7/15	7/16	7/17	7/18	7/19	7/20	7/21
病床利用率(※)		11.5% (14.7%)	12.0% (15.3%)	13.9% (17.8%)	11.5% (14.7%)	15.9% (20.2%)	19.7% (25.2%)	20.7% (26.4%)	21.2% (27.0%)	26.4% (33.7%)	32.2% (41.1%)	32.2% (41.1%)	37.5% (47.9%)	36.5% (46.6%)	39.4% (50.3%)	38.5% (49.1%)	38.5% (49.1%)	43.3% (55.2%)	45.2% (57.7%)
新規感染者数 (10万人/週)		76人 (166.5人)	133人 (177.2人)	141人 (176.5人)	143人 (192.4人)	154人 (197.7人)	169人 (222.2人)	139人 (233.4人)	102人 (239.8人)	217人 (260.3人)	262人 (289.9人)	238人 (313.1人)	213人 (327.5人)	267人 (351.5人)	199人 (366.2人)	161人 (380.6人)	110人 (354.4人)	506人 (414.1人)	377人 (488.0人)
療養者数(10万人/日) (入院+宿泊+自宅)		194.1人	187.2人	190.2人	205.8人	199.0人	229.8人	227.1人	247.6人	245.9人	242.5人	267.6人	301.6人	346.1人	345.1人	370.1人	412.4人	385.0人	373.0人

佐世保市		7/4	7/5	7/6	7/7	7/8	7/9	7/10	7/11	7/12	7/13	7/14	7/15	7/16	7/17	7/18	7/19	7/20	7/21
病床利用率(※)		21.6% (29.6%)	20.1% (27.6%)	26.9% (36.7%)	26.1% (35.7%)	23.9% (32.7%)	23.9% (32.7%)	27.6% (37.8%)	26.9% (36.7%)	26.9% (36.7%)	26.9% (36.7%)	27.6% (37.8%)	31.3% (42.9%)	36.6% (50.0%)	40.3% (55.1%)	40.3% (55.1%)	41.8% (57.1%)	38.8% (53.1%)	40.3% (55.1%)
新規感染者数 (10万人/週)		21人 (267.7人)	150人 (280.8人)	118人 (282.9人)	114人 (282.9人)	120人 (291.9人)	114人 (300.5人)	107人 (305.9人)	44人 (315.3人)	211人 (340.4人)	205人 (376.2人)	204人 (413.2人)	222人 (455.1人)	155人 (472.0人)	195人 (508.2人)	91人 (527.5人)	59人 (465.0人)	309人 (507.8人)	369人 (575.6人)
療養者数(10万人/日) (入院+宿泊+自宅)		302.6人	323.6人	353.6人	367.2人	370.4人	370.9人	364.3人	365.9人	400.9人	437.9人	478.2人	520.5人	583.0人	599.4人	602.3人	576.0人	597.4人	679.6人

			県レベル0	県レベル1	県レベル2		県レベル3	県レベル4
					県レベル2-I	県レベル2-II		
指標	病床利用率	病床全体	—	10%以上 (57床以上)	20%以上 (114床以上)	35%以上 (199床以上)	50%以上 (285床以上)	100%以上 (570床以上)
		重症者 用病床	—	10%以上 (4床以上)	20%以上 (8床以上)	35%以上 (14床以上)	50%以上 (20床以上)	100%以上 (40床以上)
参考指標	新規感染者数		—	98人/週 以上 (14人/日以上) (7.38人/10万人/週)	196人/週 以上 (28人/日以上) (14.7人/10万人/週)	343人/週 以上 (49人/日以上) (25.8人/10万人/週)	490人/週 以上 (70人/日以上) (36.9人/10万人/週)	994人/週 以上 (142人/日以上) (74.9人/10万人/週)
	療養者数 (入院+宿泊+自宅)		—	145人/日 以上 (10.9人/10万/日以上)	290人/日 以上 (21.9人/10万/日以上)	509人/日 以上 (38.4人/10万/日以上)	727人/日 以上 (54.8人/10万/日以上)	1,457人/日 以上 (109.8人/10万/日以上)

入院医療の状況

7月21日公表時点の入院患者数と病床使用率(医療圏別)

※ 上段 …緊急時病床数
(下段) …最大確保病床数

医療圏	長崎	佐世保 県北	県央	県南	本土 計	五島	上五島	壱岐	対馬	合計
入院 患者数	94	54	19	26	193	1	4	3	4	205
病床数※	208 (163)	134 (98)	92 (69)	43 (35)	477 (365)	25 (23)	19 (17)	22 (21)	27 (25)	570 (451)
病床 使用率※	45.2% (57.7%)	40.3% (55.1%)	20.7% (27.5%)	60.5% (74.3%)	40.5% (52.9%)	4.0% (4.3%)	21.1% (23.5%)	13.6% (14.3%)	14.8% (16.0%)	36.0% (45.5%)

フェーズ	4	4	3	4	—	2	2	2	2	—
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

●入院患者:重症1名、中等症・軽症204名

全感染者数:80,287名

●宿泊施設療養者:319名 ●自宅療養者:7,429名 ●調整中:0名

●回復者数:72,001名 (施設療養者:199名)

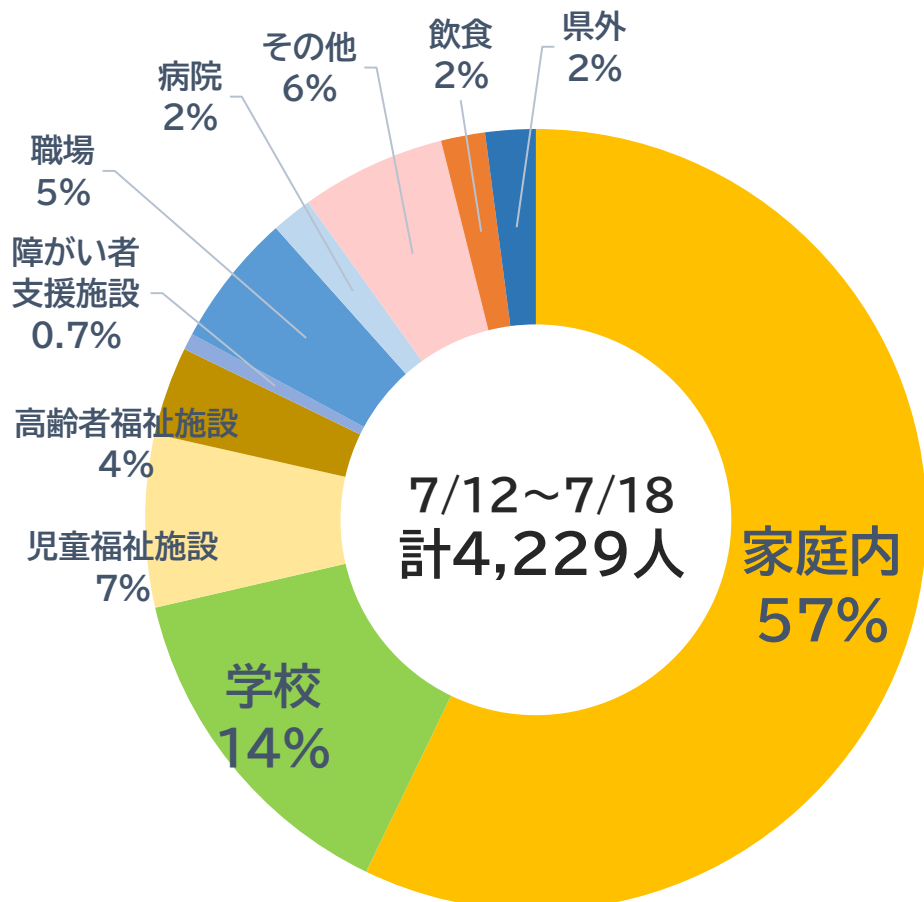
●死亡者数:134名(80代以上が7割超) ※うち、1月以降61名

市町別発生状況(4/1~7/20 公表分)

市町名	感染者数	発生割合	10万人/週	市町名	感染者数	発生割合	10万人/週
長崎市 (409,118人)	13,963人	31.6%	414.1人	雲仙市 (41,096人)	1,483人	3.4%	734.9人
佐世保市 (243,223人)	9,311人	21.0%	507.8人	南島原市 (42,330人)	1,399人	3.2%	791.4人
島原市 (43,338人)	1,478人	3.3%	641.5人	長与町 (40,780人)	1,356人	3.1%	647.4人
諫早市 (133,852人)	4,566人	10.3%	437.8人	時津町 (29,339人)	1,019人	2.3%	630.6人
大村市 (95,397人)	4,268人	9.6%	469.6人	東彼杵町 (7,721人)	179人	0.4%	388.6人
平戸市 (29,365人)	687人	1.6%	452.9人	川棚町 (13,377人)	472人	1.1%	306.5人
松浦市 (21,271人)	474人	1.1%	277.4人	波佐見町 (14,291人)	456人	1.0%	419.8人
対馬市 (28,502人)	374人	0.8%	642.1人	小値賀町 (2,288人)	5人	0.0%	131.1人
壱岐市 (24,948人)	477人	1.1%	364.8人	佐々町 (13,912人)	727人	1.6%	467.2人
五島市 (34,391人)	783人	1.8%	165.7人	新上五島町 (17,503人)	228人	0.5%	434.2人
西海市 (26,275人)	528人	1.2%	137.0人	県全体 (1,312,317人)	44,233人	—	469.6人

直近1週間(7/12~7/18)の感染状況

感染要因



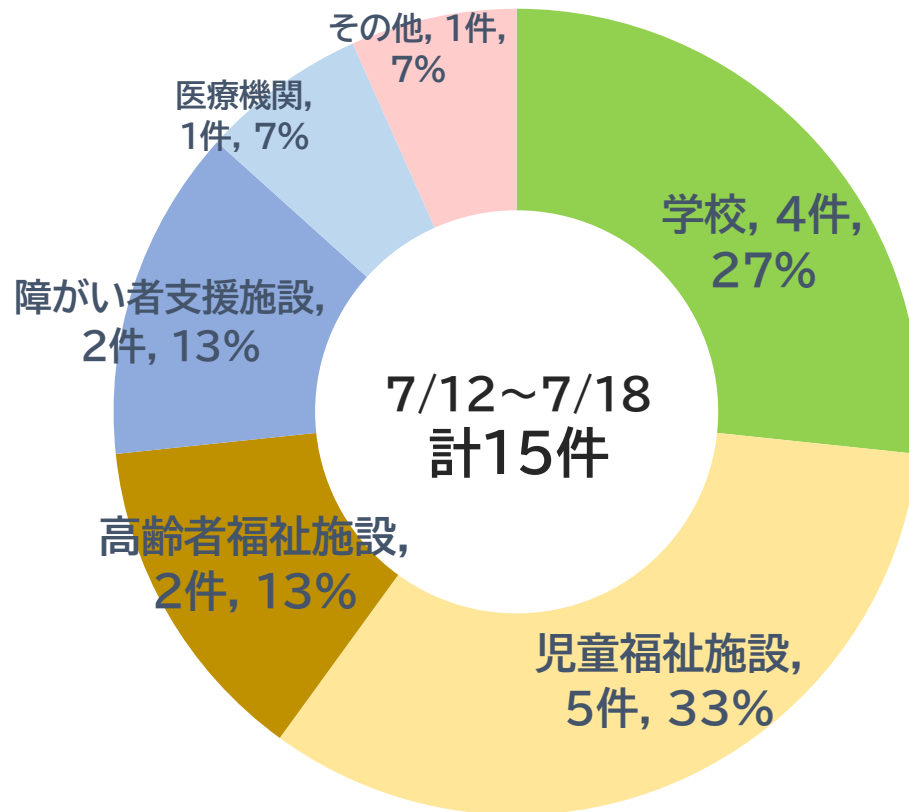
7/12~7/18
計4,229人

家庭内
57%

※その他、不明・確認中が1,529人

➤ 家庭内感染と学校で
全体の7割超を占める

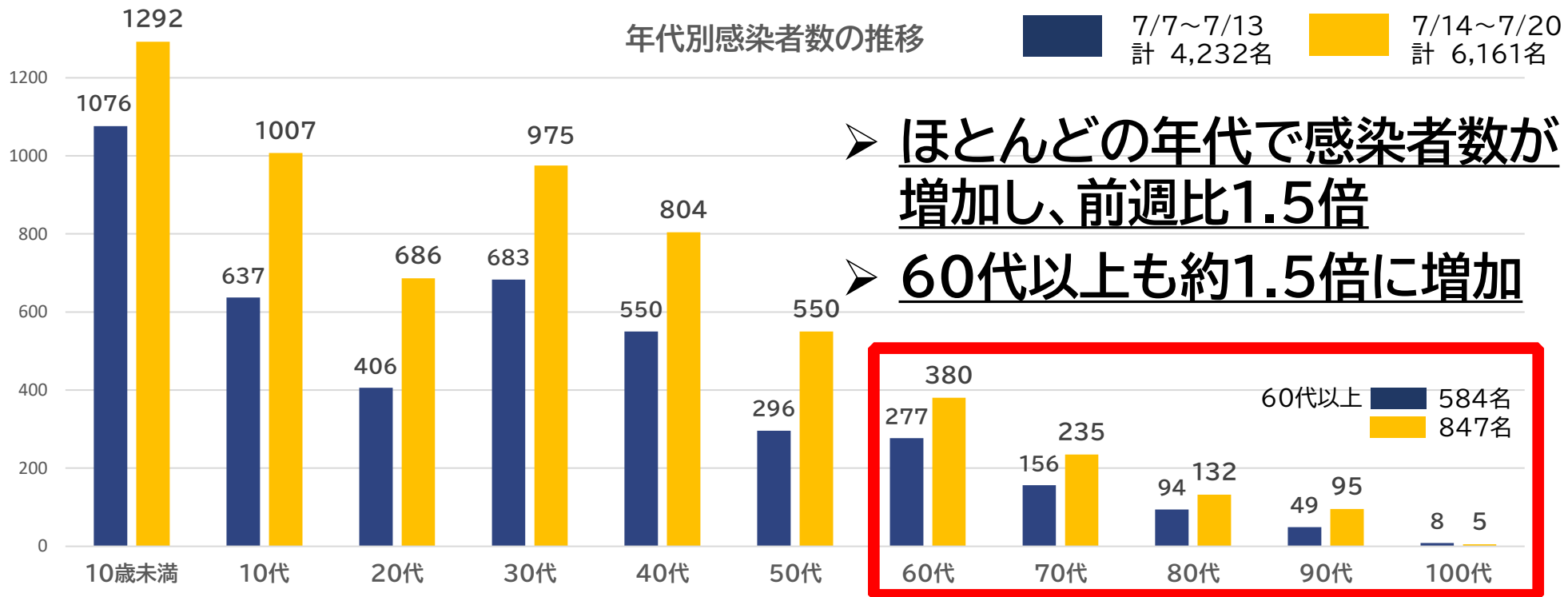
クラスター発生状況(件数)



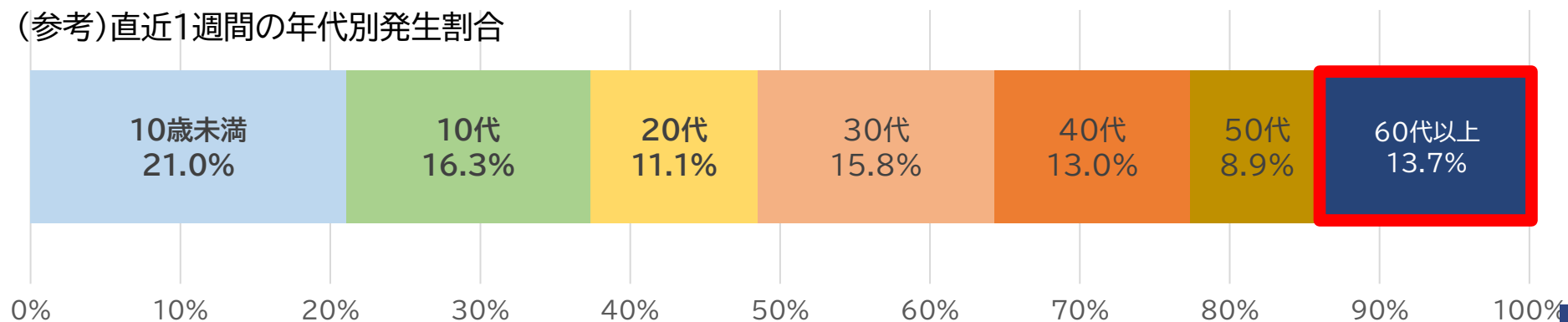
7/12~7/18
計15件

➤ 学校と児童福祉施設
で全体の6割を占める

年代別の感染者発生状況(前週比)

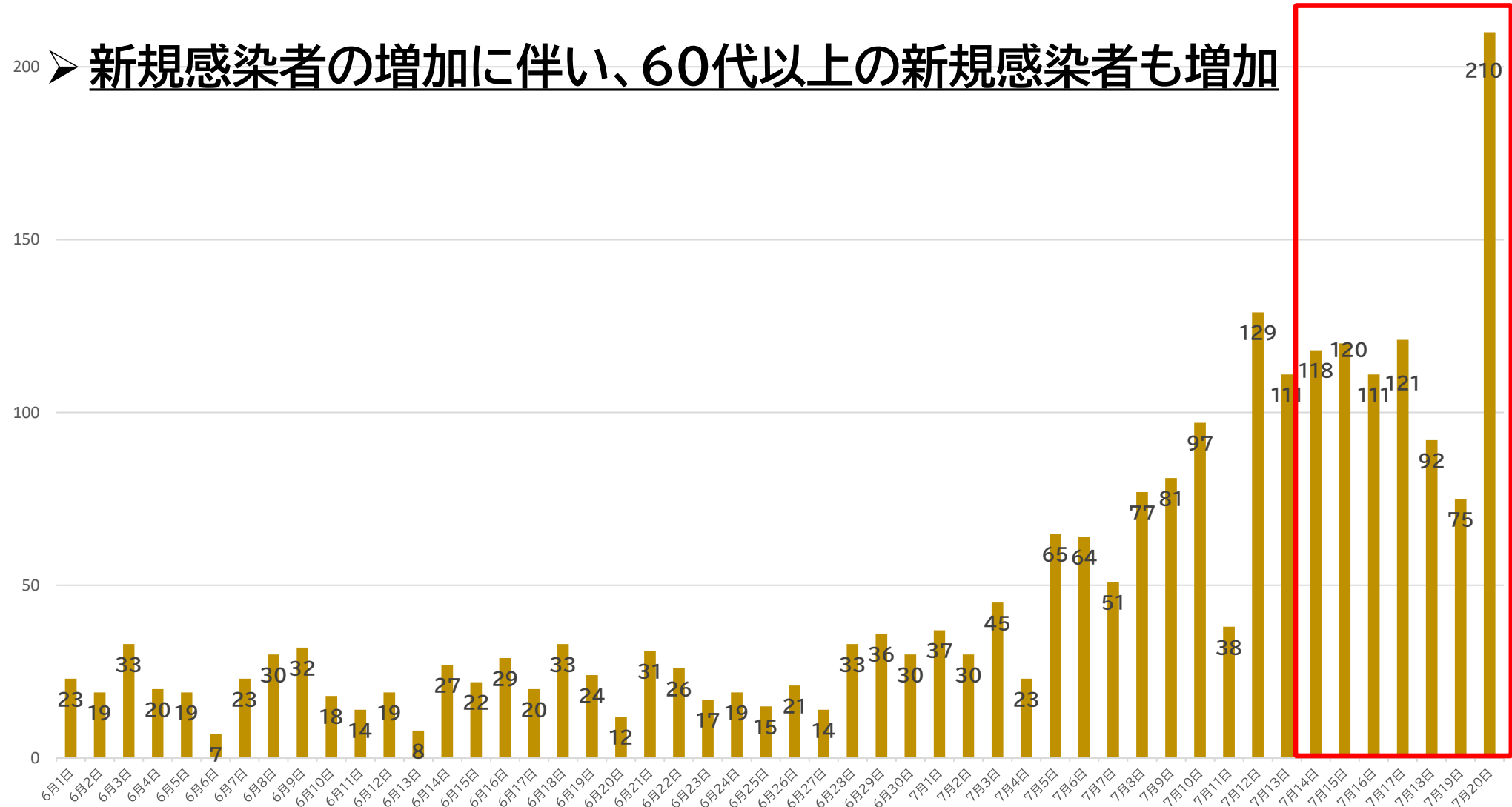


(参考)直近1週間の年代別発生割合



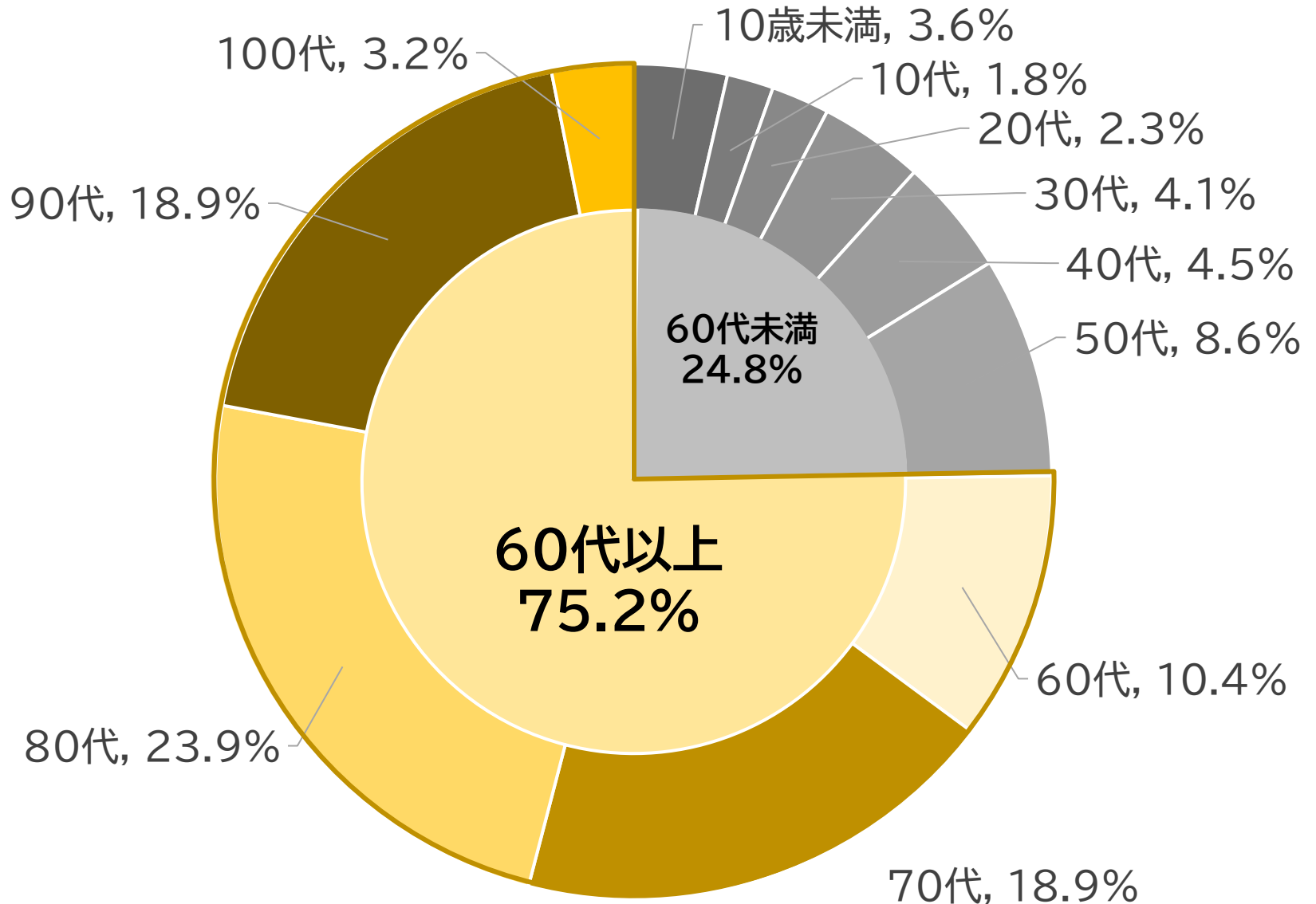
60代以上の新規感染者数の推移(日ごと)

➤ 新規感染者の増加に伴い、60代以上の新規感染者も増加



入院者の年齢構成

➤ 入院者の約8割を60代以上の高齢者が占めている (7月20日時点)



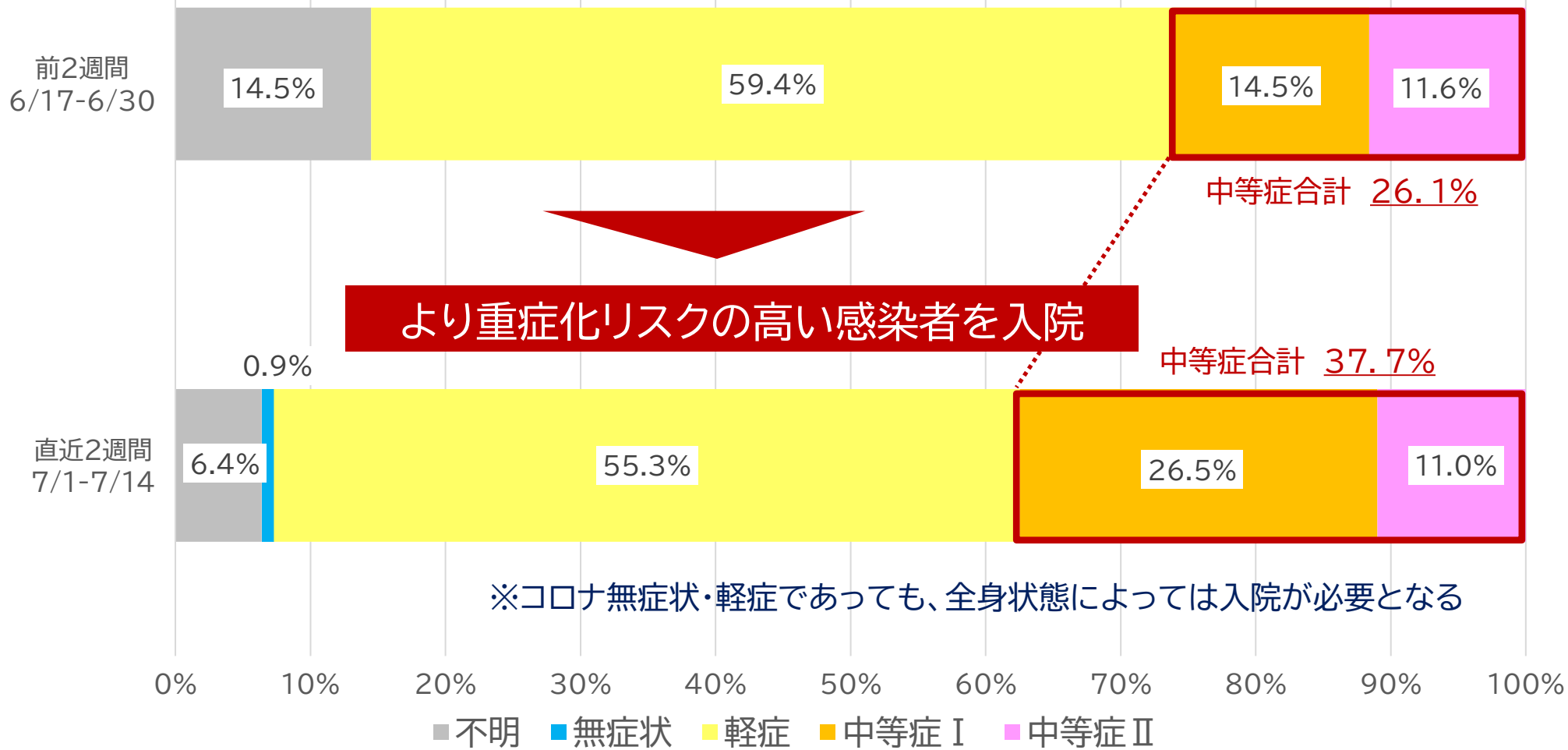
入院率の推移

➤ 1月以降、入院率は減少しているが、依然として60代以上の入院率が高い状況

年代	1月	3月	5月	直近1ヶ月 (6/7~7/8)
10代以下	1.4%	0.7%	0.7%	0.6%
20~30代	3.7%	1.9%	1.5%	1.3%
40~50代	8.7%	4.1%	1.8%	1.8%
60代	23.1%	14.2%	8.5%	5.1%
70代	44.1%	31.3%	20.8%	18.7%
80代以上	75.1%	65.8%	60.6%	42.6%
全体	10.2%	4.5%	3.4%	2.7%

新規入院患者のコロナ重症度割合の比較

中等症の割合が前2週間と比較して10ポイント以上増加



新型コロナウイルス感染症にかかる医療の現状

- 重症化率が低いとされるオミクロン株でも、60歳以上では季節性インフルエンザと比べると全国で約3倍(本県は同程度)重症化リスクが高まる

		重症化率	
		60歳未満	60歳以上
新型コロナ(オミクロン株)	全国(※1)	0.03%	<u>2.49%</u>
	長崎県(※2)	0.01%	<u>0.80%</u>
季節性インフルエンザ(※3)		0.03%	<u>0.79%</u>

コロナ重症化率:「重症に至ったが死亡とならなかった患者、重症化して死亡した患者、重症化せず死亡した患者の合計」を「感染者数」で割ったもの

(注1)新型コロナと季節性インフルエンザの重症化の定義が厳密には異なっている点に留意

<出典等>

※1、※3 新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード資料から引用

※2 長崎県データから算出

- 新規感染者の急増により、高齢者世代の重症者の増加が見込まれる

今後は、より緊急度の高い感染者に適切な医療が提供できるように入院病床運用のさらなる効率化が必要

一般診療の制限状況

▶ コロナ患者受入医療機関における診療等の制限は増加傾向

《コロナ患者受入医療機関(45施設)の診療等の制限状況》

	6月17日	6月24日	7月1日	7月8日
外来	1施設	1施設	1施設	➤ 3施設
入院	5施設	5施設	➤ 3施設	➤ 7施設
救急	2施設	2施設	2施設	➤ 4施設
職員の休業(陽性者)	36人	➤ 42人	➤ 57人	➤ 84人
職員の休業(濃厚接触者)	49人	➤ 56人	➤ 49人	➤ 68人

コロナ入院医療及び一般診療ともに さらに悪化する恐れ

- ▶ 緊急時病床を含め570床確保(現在193床使用)しているが、コロナ感染により医療従事者の休業が相次いでおり、全570床を運用することは不可能な状況
 ※コロナ患者受入医療機関(45施設)の医療従事者休業状況 陽性者117人 濃厚接触者109人
- ▶ コロナ病床の使用制限に加え、一般診療にも大きな影響が及ぶこととなる
 ●通院外来の制限 ●コロナ以外患者の入院制限 ●予定手術の延期 ●救急搬送の受入困難 など

重症化リスクのある自宅療養者への健康観察等の継続

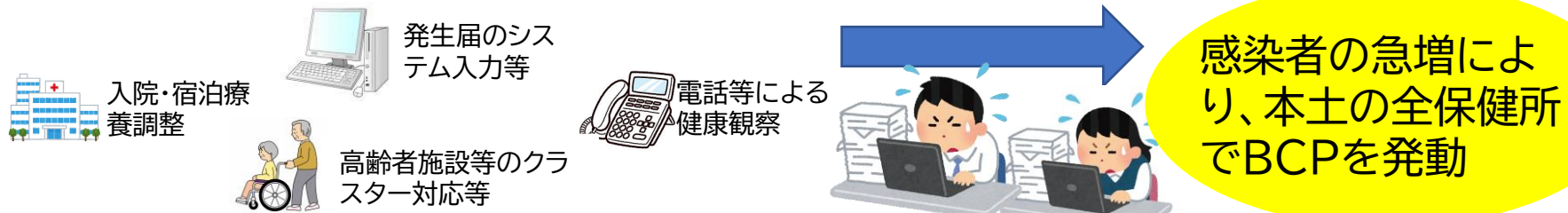
コロナ感染者が急激に増加しているが、業務効率化や応援体制により、高齢者、妊婦、基礎疾患のある方など、重症化リスクのある自宅療養者の健康観察等を継続

過去最高を更新

新規感染者(7/19)
1,587人

自宅療養者(7/19)
6,812人

保健所の主な新型コロナウイルス業務



業務効率化に向けた主な取組状況

主な取組	県	長崎市	佐世保市
ショートメール・WEBフォームによる調査	5/2～	準備中	準備中
重症化リスク者以外の健康観察外部委託	3/22～	準備中	6/1～

感染者の更なる増加に伴う今後の業務継続が課題

- ▶ 医療機関からの発生届が少なからずFAXでくるため、システムへの代行入力が増加
- ▶ 発熱時の対応、濃厚接触者の考え方など、一般的な問い合わせが増加

無料検査について

▶ 感染に不安を感じる県民の皆様への無料検査期間を延長予定

期 間 1月7日(金) ~ 8月31日(水)

対 象 感染不安を感じる**無症状の県内在住者**
※濃厚接触者の方は対象外

その他 無料検査は**原則予約制**とします
※予約なしの場合、受検できない可能性があります

検査場所の詳細はこちら（県ホームページ）

長崎県 一般検査

Q 検索



※受検の際は**事前に**検査場所にご連絡願います

▶ お盆期間中(8月5日~18日)、**主要な駅や空港等**において、**無料検査**を受けることができます。**旅行や帰省の際、積極的にご活用**ください（詳しくは各都道府県のホームページ等でご確認ください）

長崎県 長崎駅近く、佐世保駅前、長崎空港の3拠点で実施中

- ▶ 感染症以外の患者も含め、より緊急度の高い方への対応として次の対策を実施

1 効率的な病床の運用に向けた関係者への協力依頼

▶ 症状に即した療養体制の徹底

- コロナ軽症・無症状であり、コロナの症状以外でも入院不要であれば、原則、入院以外(宿泊療養、自宅・施設等)での療養とする
- 症状が回復した場合は、コロナ療養期間中であっても、原則、退院(宿泊・自宅療養)とする

▶ 自宅療養者への対応

- 自宅療養者は保健所による健康観察と、かかりつけ医や自宅療養サポート医による医療支援を継続し、症状悪化時は速やかに医療対応へつなげる

2 高齢者施設における感染者発生に備えた事前準備の徹底

➤ 施設内での療養に備えた体制の構築

- 施設内での療養を想定し、医療機関との協力体制や、施設内での訓練・研修など、**事前に体制を整えておく**
- 施設の**協力医療機関をさらに拡充する**
- **地域の医療支援体制の構築をさらに推進する**

施設においてクラスターが発生した際、必要に応じて県内全域型CovMATを派遣し、医療支援を実施

⇒加えて、今回、新たに長崎市医師会CovMATが発足

県の取り組み

3 更なる病床の確保に向けた医療機関への協力依頼

➤ コロナ病床のさらなる拡充

- 現在のコロナ**確保病床**(最大570床)をさらに**拡充**する
- コロナ確保病床医療機関以外においても、**自院関連の感染者**については、**自院での対応**とする

- ▶ 発熱等有症状者が検査・診断可能な診療・検査医療機関を自ら検索できるようにマップ化しました (7月20日(水)から運用開始中)

受診可能な医療機関を地域ごとに検索可能

- ・医療機関名
- ・住所
- ・電話番号
- ・診療可能な曜日 等を表示

※受診の際は事前に電話にて予約ください

The screenshot displays a mobile application interface. On the left, a details card for '社会医療法人春回会 出島病院' (Shakai Iryō Hōjin Harukaie Ushijima Byōin) is shown. The card includes the following information: 医療機関名 (Medical Institution Name), 住所 (Address: 長崎市出島町12-23), 電話番号 (Phone Number: 095-822-2323), 診療 (Clinic) status, 検査 (Examination) status, and 月 (Month) with AM/PM indicators. On the right, a map of Nagasaki is shown with numerous red cross icons indicating the locations of medical facilities. The map includes labels for '長崎市' (Nagasaki City), '西浦上' (Nishikurikami), and '長崎記念病院' (Nagasaki Memorial Hospital).

県のホームページで公開

長崎県 コロナ診療マップ

検索



ワクチン接種の推進

《3回目接種の状況》

■ 接種回数 877,818回 ■ 接種率 65.7% (全国平均62.3%) 7月18日時点

- ▶ 若い世代でも重症化することがあります
また、重症度に関わらず後遺症で悩む方も少なからず認められています
- ▶ 自らの健康を守るため、そして家族や仲間など大切な人を守るため
ワクチン接種をお願いします

《4回目接種について》

- ▶ 3回目接種から5ヶ月以上経過した次の方が対象となります

60歳以上の方

市町から接種券が順次発送されますので、接種券が届きましたら早めの接種をお願いします

18歳から59歳で

- ・基礎疾患を有する方
- ・重症化リスクが高いと医師が認める方

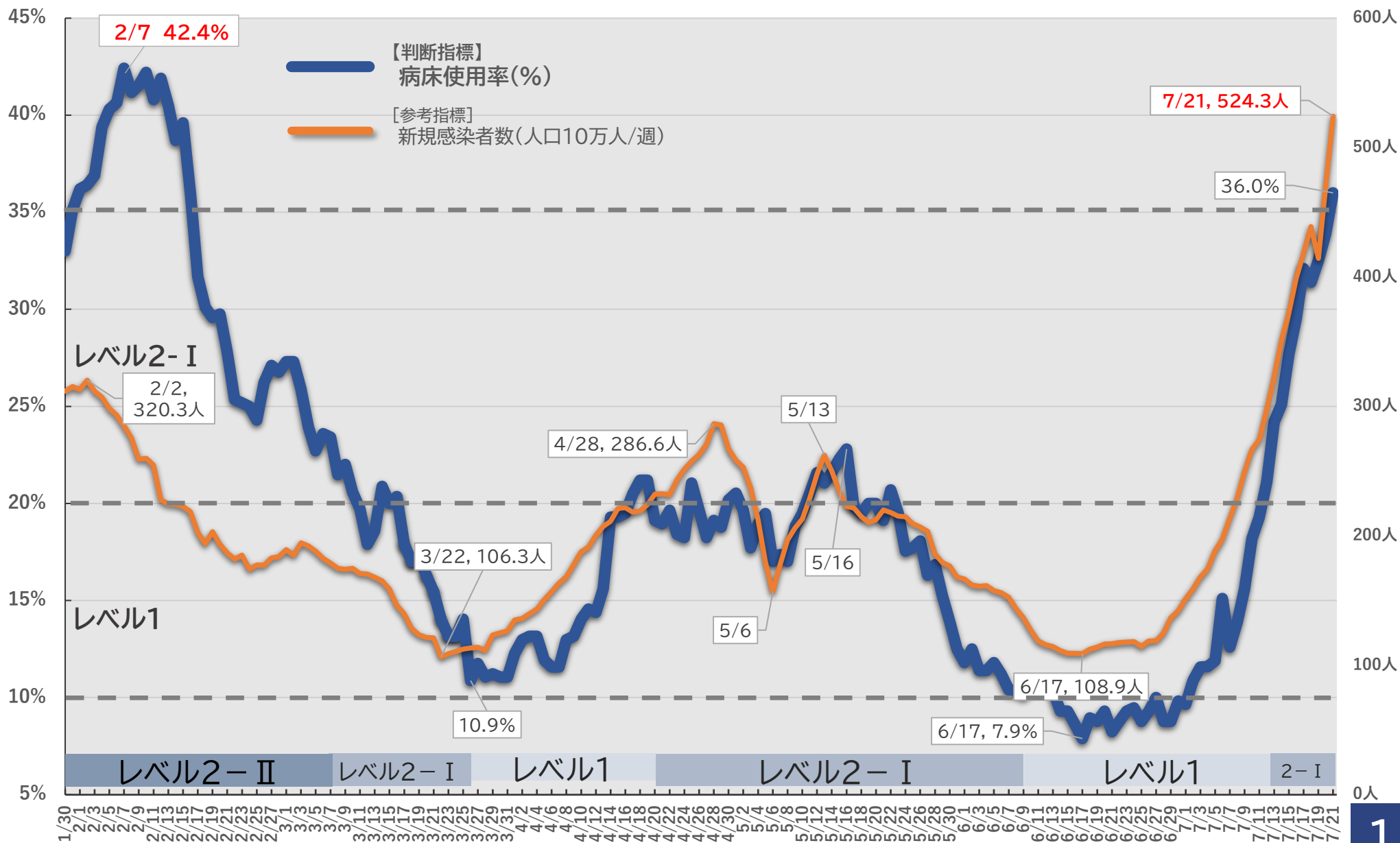
接種を希望する場合、市町に接種券発行の申請が必要な場合があります。
詳しくはお住まいの市町へご確認ください

知事記者会見

本県における 感染防止対策について

令和4年7月21日

新規感染者数・病床使用率の推移



感染段階レベル

- 判断指標である病床使用率は、県全体で35%を超過しており、また、医療圏別に見ても長崎、佐世保・県北、県南の各医療圏において、35%超過が継続
- 新規感染者の増加傾向が続く中で、入院者の約8割を占める60歳以上の感染者も増加しており、今後も増加傾向で推移することが考えられる

▶ 7月21日から県内の感染段階レベルを2-IIに引き上げ

	レベル0	レベル1	レベル2-I	レベル2-II	レベル3	レベル4
警報等	—	注意報	警戒警報	特別警戒警報	緊急事態宣言 (独自)	非常事態宣言
<指標> 病床使用率	—	10%	20%	35%	50%	100% 以上

現在の感染状況を踏まえた県の考え方

- 7月に入り新規感染者が急速に増加しており、7月20日、21日と2日続けて過去最多となる感染者が確認される中、レベル判断の指標である病床使用率も上昇し、県全体でレベル2-Ⅱの水準である35%を超過しました。
- 本県では、これまでも医療や福祉などの機能が維持できる範囲であれば、コロナと共生し、可能な限り社会経済活動を継続していく方針をお示ししてきたところであり、国の方針も踏まえ、社会経済活動を継続してまいります。
- 一方で、今後の感染拡大により、例えば、病床が更にひっ迫し、一般医療が維持できなくなるような場合については、行動制限等も視野に入れつつ、検討を進めてまいります。

感染対策のポイント

- 全国的に感染が拡大する中、本県でも週平均で1日あたり900人近くの新規感染者が確認されており、感染リスクが非常に高まっています。
- これから夏休みを迎えるにあたり、普段会わない人との交流機会が増加します。そうした楽しい時間を安心してお過ごしいただくためにも、そのような機会には感染防止対策に細心の注意が必要です。

① 会話時のマスク着用や三密回避、手指消毒などの基本的な感染防止対策の徹底をお願いします

感染対策のポイント

②熱中症対策には冷房を適切に使用することが重要ですが、その際にも**空気の通りを意識したこまめな換気**を

③会食の際は、**認証店**を利用し、マスク会食や密にならない工夫など、**感染対策の徹底**をお願いします



⇒ 認証店においては、認証基準の再確認をお願いします。
非認証店においては、積極的な認証取得をお願いします。

感染対策のポイント

- ④ 高齢者や基礎疾患をお持ちの方、またこうした方と日常的に接する方は、感染対策を徹底するとともに、感染リスクの高い場面等は避けていただくようお願いします
- ⑤ 夏休み等の帰省時に高齢者や基礎疾患をお持ちの方と会われる際は、事前に検査による陰性確認やワクチン接種をお願いします

感染対策のポイント

⑥自らの健康や家族・仲間などの大切な人を守るため、ワクチン接種へのご協力をお願いします

⑦体調が少しでも悪いときは、外出・登校・登園を控え、すぐに医療機関に電話で相談を

1 県民の皆様への要請

- 会話時のマスク着用や三密回避、手指消毒などの基本的な感染防止対策の徹底
- 熱中症対策には冷房を適切に使用することが重要ですが、その際にも空気の通りを意識したこまめな換気を徹底
- 会食の際は、認証店を利用し、マスク会食や密にならない工夫など、感染対策の徹底を
- 高齢者や基礎疾患をお持ちの方、またこうした方と日常的に接する方は、感染対策を徹底するとともに、感染リスクの高い場面等を避ける
- 自らの健康や家族・仲間などの大切な人を守るため、ワクチン接種へのご協力を
- 体調が少しでも悪いときは、外出・登校・登園を控え、すぐに医療機関に電話で相談を

2 事業者の皆様への要請

- イベント開催時の感染防止対策の徹底
- 基本的な感染防止対策の徹底
- 認証店における認証基準の再確認
非認証店における積極的な認証取得

3 県立学校での対策

- 部活動における密集・接触する運動や県内外問わず他校との交流については、各学校において地域の感染状況に応じて慎重に判断

4 児童福祉施設等での対策

- 基本的な感染防止対策(室内の換気、手洗い、消毒、検温、体調管理等)の徹底

5 介護・障害者福祉施設等での対策

- 福祉サービス等の維持・継続、感染の早期収束を図るための支援(他施設からの業務応援、DMAT、CovMATの派遣等)を実施
- クラスタ発生時の保健所による現場指導

6 家庭内での対策

- こまめな手洗い、定期的な換気
- 食べ物や飲み物、食器の共用は避ける
- 帰省時等に高齢者や基礎疾患のある方と会う際は事前に検査による陰性確認やワクチン接種を

医療機関の皆さまへ

総力をあげて地域医療を守るため

- 診療・検査医療機関へのさらなる登録(※1)および登録医療機関名の公表(※2)にご協力をお願いします

(※1) 診療・検査医療機関登録率

長崎県

33.0%

九州

40.8%

(※2) うち公表している医療機関の割合

長崎県

87.7%

- 健康観察等の保健医療対応に迅速につなぐため、発生届のハースス入力をお願いします

- 在宅療養中(自宅、施設等)の高齢者等の入院受入れに対応する医療機関を増やすため、全ての病院(※3)においてコロナ病床2床以上の確保についてご協力をお願いします

(※3) 県内全122病院(精神科単科病院を除く)のうち、すでにコロナ病床を確保いただいている45病院以外の77病院 [病院の定義: 20床以上の医療機関]

高齢者施設の皆さまへ

より緊急度の高い患者の入院医療確保のために

- 高齢者施設等に入所している感染者であっても、病状により入院不要であれば、**原則、施設内療養**となります
⇒ 病状悪化時は速やかに医療につなぐ
- 入院治療により**病状が軽快した際は、コロナ療養解除前**であっても**入所者の早期退院**についてご理解とご協力をお願いします
- **感染者の施設内療養に備えた事前の取組**をお願いします
【高齢者施設の具体的な取組例】
 - ・嘱託医等に相談し、**診療できる医師**を確保
 - ・発生時の**連絡・報告フロー**や**対応方針**の確認
 - ・**ゾーニング**や**防護具着用**に関する**訓練**
 - ・**入所者や家族**に対し、**原則、施設内療養**となることの**事前伝達**

県民の皆さまへ

医療危機を招かないために ～今後の対応とお願い～

- 入院患者の急激な増加に加え、医療スタッフの感染により、コロナ感染者だけでなく**一般医療への更なる影響が危惧**されます
- こうした状況を踏まえ、今後は、**軽症・無症状**であれば、原則、**入院以外(宿泊療養・自宅・施設等)での療養**としますので、県民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします
- 基本的な感染防止対策を更に徹底いただくとともに、重症化予防のためにも**ワクチン接種へのご協力**をお願いいたします

県民の皆さまへ

- 保健所が、重症化リスクの高い自宅療養者の健康観察等の必要な業務に適切に対応できるように、以下についてお願いいたします
 - 濃厚接触者の特定に関する問い合わせはお控えください
(ハイリスク施設・同居家族以外の濃厚接触者の特定は行っておりません)
 - 一般的な相談は長崎県受診・相談センターへお願いいたします
(電話が繋がらない場合は、保健所ではなく、時間をおいてから再度センターへおかけ直してください(24時間対応))

長崎県受診・相談センター TEL:0120-071-126

県ホームページ

長崎県 受診・相談センター

検索



観光キャンペーンの取扱いについて

これまでの対応(案)

- レベル2-Ⅱ
⇒新規予約停止
- レベル3 又は
まん延防止等重点措置適用
⇒事業停止



今後の対応(案)

- レベル3 又は
まん延防止等重点措置適用
⇒事業停止(国の基準どおり)
- ※レベル2-Ⅱでの新規予約停止は行わない

見直しに至った背景

- 本県独自に実施中の「旅行に関するアンケート調査」では、全体の陽性率3.4%に対し、旅行した人の5日以内の陽性率は1.7%であり、**旅行自体が著しくリスクがあるとはいえないこと**
- 社会経済活動をできるだけ維持する旨の**国の対処方針**
- 九州各県においても**国の基準どおりの運用とする方針**であること

※現状、観光キャンペーンは県全体の指標で判断

【参考】旅行に関するWEBアンケート(速報値)

<調査概要>

- ・調査内容：旅行と感染の関係を把握するため、旅行の有無・目的、感染の有無・原因、感染防止対策についてインターネット調査を実施
- ・対象者：福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島県在住者(※15歳以上)
- ・調査対象期間：令和4年3月～7月

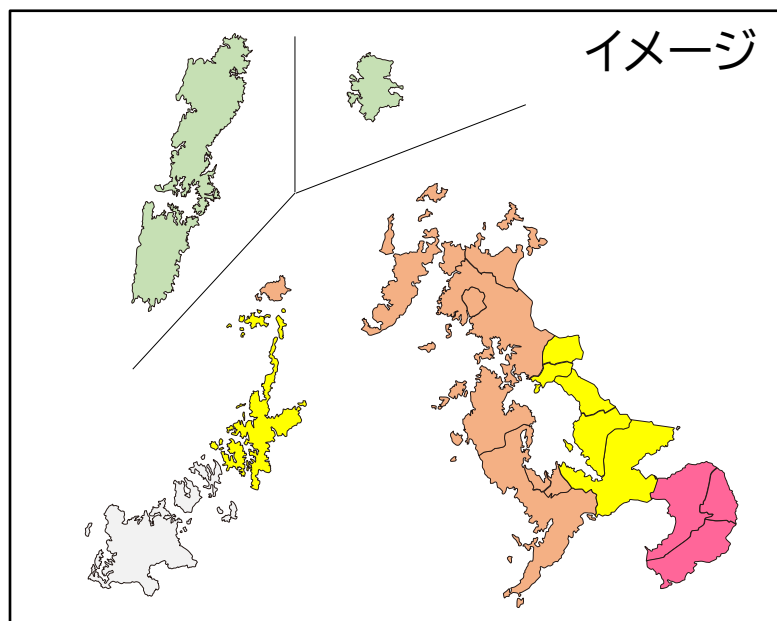
<調査の途中結果(概要)> ※7/19時点

- ・有効回答数21,090人のうち
3月から7月までに陽性になったと回答した人は720人(3.4%)
- ・3月から7月までに、宿泊を伴う旅行をした5,348人のうち、
帰宅後5日以内に陽性になったと回答した人は93人(1.7%)

	回答数①	陽性になった②	②/①
	21,090人	720人	<u>3.4%</u>
うち 旅行をした人	5,348人	93人	<u>1.7%</u>

感染段階等の運用について

- 病床のひっ迫状況を県民の皆様に分かりやすくお示しすることにより、注意喚起を促し、感染防止対策を徹底していただくため、各医療圏域の病床使用率を可視化



医療圏	病床使用率	感染状況
長崎	45.2%	レベル2-II相当
県北・佐世保	40.3%	レベル2-II相当
県央	20.7%	レベル2-I相当
県南	60.5%	レベル3相当
五島	4.0%	レベル0相当
上五島	21.1%	レベル2-I相当
壱岐	13.6%	レベル1相当
対馬	14.8%	レベル1相当

- 感染段階が高まってきた状況を踏まえ、今後、「感染段階レベル」の判断について、“地域ごと”としている運用の考え方を整理